



今月の話題

- 関西研修旅行レポート
(グローバル地震観測コース)
- 国際交流親善パーティー
- 研修事業の実施に関する会議

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

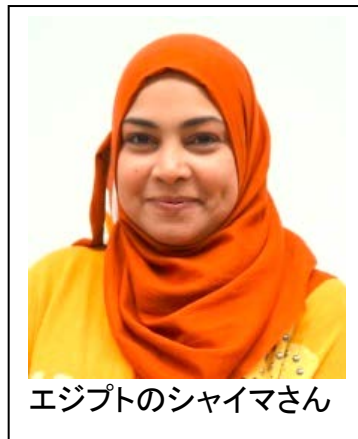
地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

関西研修旅行レポート(グローバル地震観測コース)

(1) シャイマ アリ マモーン カヒール, エジプト



エジプトのシャイマさん

今回の研修旅行では多くの素晴らしい体験をしました。個人として、そして科学者として一般的かつ技術的な知識を得ることができました。更に先生たちや仲間と楽しい時間を過ごしたことで、どれほど多くの恩恵を受けたかを自分の言葉で全て語ることは難しいでしょう。

宮島は多くの地質学的情報と共に美しい景色の自然に非常に感銘を受けました。また、阪神淡路大震災は地表がどのように動いて発生したかを保存されている実際の断層で確認することができ、素晴らしい体験でした。さらに、二条城、金閣寺そして京都

御所では日本の建築芸術を堪能しました。

広島原爆資料館について話すことは辛いですが、今回の研修旅行で一番重要な訪問先だと思います。館内の写真、映像、原爆の影響を受けた子供達の洋服をみると、自分がその世界に引き込まれ、その当時の人々の苦しみを感ずる涙が流れました。それらの光景から強烈な影響を受け、再びこのような惨事が起こるのではないかと恐怖を感じました。また、世界の核軍縮の取り組み以前の戦争でもたらされた非人道的な原爆投下による凄惨な状況を決して風化させないために、広島平和記念資料館は重要な場所です。これから私たちと子供たちが平和に安全に暮らせるために。

今回の研修旅行から得た経験を簡単に述べます。

- 日本は自然災害および人為的惨事に直面しても、日本の国、日本の人々はそれに屈することなく強さを備えている。

<<<あなた方は勇気と希望の象徴です>>>

- 神は自然がもつ力を時に凶暴に働かせるが、時に美しく寛大に働かせる。だからこそ、あらゆる災害を乗り越えていくために、私たちは傍らに立ち、手をとりあう、という良い教訓を得ました。

最後に、この旅で私たちが終始快適で安全に過ごせるよう、多くの労力と時間を費やしていただいた方々と、稲留さん、佐久間さん、そして林田さんに感謝し、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

論文募集

ISEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



広島原爆ドーム

(2) タヒール メムード, パキスタン



パキスタンの
タヒールさん

2019年2月7日から10日、グローバル地震観測研修コースの研修生は研修旅行で関西地方(広島、神戸、京都)を訪問し、情報および知識の向上に有意義なものとなりました。この旅行の基本的な目的は、地震災害、原子爆弾使用の影響、日本の歴史について更に理解することでした。

1945年8月6日、広島は原子爆弾によって壊滅的な被害に遭いました。140,000人が亡くなり、生存者も身体的、精神的に苦しみました。この経験から、核兵器のない世界のために私たちは努力する必要があります。また、「核兵器と人類は共存することはできない」という強いメッセージを繰り返し伝えていくべき

です。

私たちの願いは、核兵器の撤廃、そして広島が一番の願いである、真の平和な国際社会の実現化です。

それから、野島断層保存館では、断層についての説明を受け、断層の種類と道路上に見られるずれ等の特徴について実際に見ることができました。人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災がもたらした被害について知ることができました。アテンダントの方々は彼ら自身の体験を踏まえながら、詳細まで丁寧に話してくださいました。この地震から学んだ重要な教訓は、神戸市の再建のため行政と社会がどのように協力し合ったのかということです。



楽しむのは今です。



連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>



野島断層保存館

そして行程の最後に二条城、金閣寺、京都御所を訪問しました。これらの史跡は、日本社会の栄光、習慣、伝統そして文化を忠実に反映していました。とても楽しい研修旅行でした。JICAと建築研究所の皆さん、このような素晴らしい旅行を企画いただきありがとうございました。

(3) サミーラ ラサンタ ヘンブゲ, スリランカ

私はスリランカからきたラサンタと申します。広島・関西への研修旅行での発見と経験を簡単に報告いたします。

最初に訪問した宮島では五重塔や神社などを見学し、日本古来の文化について学ぶことが出来ました。

次に原爆ドームを訪問し、実際に原爆の被害に遭

った建物を目にしました。広島平和記念館での被爆体験伝承講話では被爆者の経験を聞くとともに平和の大切さを学びました。記念館は非常にわかりやすく整備されていて、現在までの原爆の開発や核弾頭の分布に関する多くの情報が提供されていました。又、資料館にあ



スリランカのラサンタさん



宮島

った写真、アニメーション、展示品、装置等は広島への原爆投下がどれだけの被害をもたらしたのか、特に人間に対してどのような影響があったのかを詳細に伝えていました。

私は原爆投下と核戦争は今までの人類が犯した一番大きな過ちのひとつだと思います。広島では原爆により14万人以上の人々の命が失われました。これは平和の重要性に対する良い教訓となっています。政治や権力問わず、2度とこのような危険で悲惨な過ちを誰に対しても起こしてはいけない、ということを伝えていくことが人間としての私たちの使命であると感じます。

3日目は淡路島の野島断層保存館を訪れ、1995年の阪神淡路大震災に関連する断層変位を見学しました。右横ずれ断層と断層変位についてとてもよく理解することができ、又、地震の被害についても学ぶことができました。

それから私たちは人と防災未来センター(DRHRI)に移動しました。DRHRIでのビデオや写真、絵などの資料は、地震や津波等の自然災害への正しい向き合い方だけでなく、被害を受けた際にどのように乗り越え、どのように被害を軽減していくのかを私たちに教えてくれました。このような教育は、過去の経験から学んだ正しい方法で自然災害に備えることに大いに役立つので、全ての国で行われるべきだと思います。又、DRHRIは日本人の自然災害に対する強さや勇気を示してくれたように思います。

最終日は二条城、金閣寺、京都御所を訪問し日本の歴史を学びました。

今回の研修旅行は全体を通して非常に価値のあるものでした。たくさんのことを学び、楽しむことができました。最後にこのような貴重な体験を企画して下さった日本政府、JICA、IISSEのスタッフ、およびコーディネーターの方々に感謝致します。ありがとうございました。



被爆体験伝承講話



広島平和記念公園



人と防災未来センター



野島断層保存館

国際交流親善パーティー

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

IISEE では、通年コースとグローバルコースが開講しているこの時期に、研修生とのフレンドシップパーティーを開催(2019年2月12日)しています。
澤地理事もご出席いただき、賑やかで楽しい時間を共有できました。



澤地理事と
グローバル地震観測コースの研修生



研修事業の実施に関する会議

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

国際地震工学センターでは、最新の技術情報の収集や技術移転のための職員派遣、建築物の地震防災に関連する技術情報をホームページで公開するなど、研修以外でも、開発途上国の地震・津波災害の軽減を目指して取り組んでいます。国際地震工学センターでは、これらの事業がより充実したものになるように、毎年2月頃、外部学識経験者等の御意見を踏まえながら実施しています。